

杉の子の輝け

お山の杉の子
記念像の
サトウ・ハチロー（補作）

一 昔々の
お山の杉の子
「これこれ杉の子 起きなさい」
お日さまにこぼれ 声かけた

二 続々集まる
感動の
寄付金

三 永遠に
残る
平和の碑

四 ランチ体験
昔々のお山は
今も立派な杉の子
強く大きく
心の木更す大杉だ
心にともそう
大きな杉は何なる
傷跡の跡に
本心を愛する炎

五 心にともそう
大きな杉は何なる
傷跡の跡に
本心を愛する炎

現代日本を背負う「杉の子」

6.4 合同委員会にて

記念碑・記念誌・募金の三つの委員会の合同会が開かれ、六月末までの行動についての中間報告と今後の検討が行われました。この中で、ブロンズ像の名称について、伊藤市長に揮毫をお願いし、石へ彫り込むためにも早急に決める必要があるとして話し合われました。職場からは「黎明の像」などの名称が寄せられました。

たが、実行委員の中より、当時子ども達が元気に歌った「お山の杉の子」の歌にちなみ、さらに、杉の子の活躍をたえ、「輝け杉の子」がよいのでは、との声が強くなりました。

なお「杉の子」の歌詞「少国民文学」昭19・11には軍国主義的な内容があり、戦後三番六番がつくり直されました。（吉田テツ子、サトウ・ハチロー）

伊藤市長へ お礼と報告

六月三日、坂東委員長・大山事務局長・渡部教育長に、森山川教組委員長がそろって市長を尋ねました。この事業への賛同の輪が広がっていることと報告しましたが、市長からは、「先生方だから出来るすばらしい事です。可能な限りの協力をします。除幕式を楽しみにしています。」との言葉をいただきました。



製作すすむ 円鋸先生

六月三日、先生のお宅を訪問しました。写真のように粘土の原型から石膏像としてもどって来たものに手入れをなさっていました。このあとは、約一カ月、ブロンズ像への製作期間が必要。完成は七月中旬。台座となる石屋さんの仕事も始まります。

東京大空襲体験者より 二〇、〇〇〇円寄せられる

実行委員会の活動や市PTA全会員へのチラシ配布、マスコミの報道などにより、大きく反響が広がり、いろいろ寄せられています。左は事務局へ寄せられたお便りのうちの一通です。

前略 このたび戦争のために学童疎開され亡くなられた児童の記念像が建立される由、新聞紙上で知りまして。私も昭和二十年三月東京大空襲で家を焼かれ、子どもをおんぶして逃げ廻って多くの焼死者を見、よく助かったと思いました。

十年前より多摩区のマンションの管理人をしており、多摩区にお世話になっております。主人も定年近く、川崎の地に在住した思い出にしたいと思っております。建立されましたら見に行きたいと思っております。

草々

学童疎開40周年〈記念碑・記念誌〉の成功にむけて

組合員カンパにご協力を！

- ・ 目標 1人500円以上
- ・ 期間 6月15日～29日